



# お台場のいづくり瓦版

12月15日(土曜日)、お台場の海でひび立てを行いました。参加者は、子どもたちも含めて100人以上が参加しました。ひびとは、竹でできた「海苔ひび」と呼ばれる支柱のことで、真っ直ぐ等間隔で海に立てます。そこへ海苔芽(海苔の種)を植えた網を張り、海苔を育成します。

保護者と先生、実行委員、漁師の皆さんが海に入り、42本のひびを立てました。当日は雨が降り、寒い中、大変過酷な作業でした。

お台場学園港陽小学校5年生の児童が、お台場の海苔が大きく美味しく育ち、2月2日に無事に収穫ができるように願いを込めたメッセージをひびに取り付けました。「おいしく大きく育てね!」「めざせ!日本一おいしいのり!」「お台場ののりはお台場の夢」などと熱い想いが書かれていました。

子どもたちは、船に乗り、ひび立て作業中の先生やお父さんに向かって、「がんばってー」と熱い声援と、「先生寒くない?」と心配の声をかけていました。子どもたちの目には大人の頑張っている姿が焼きついたことでしょう。

その後は、船でお台場周辺をクルージングし、船から見るお台場の景色を堪能しました。



想いを込めたメッセージをひびに託して



ひびを立てるため海の中へ

ひび立てが終了した後は、お台場学園港陽小学校の視聴覚教室で、海苔育成授業と今後の海苔の検査について説明会を行いました。NPO 法人海づくり研究会代表の森田さんが講師です。海苔の安全性、細菌の種類、病原性細菌、重金属、放射能等について学びました。いずれも東京湾は規制基準値以下で安全は確保されています。

今季も中間刈り取り(平成25年1月19日 土曜日)の際に検査を実施します。



子どもたちの応援が力に変わります

## 種網張り作業

日時:平成24年12月22日(土曜日)午後3時45分~4時30分(受付開始:3時30分)

場所:お台場学園港陽小学校(集合場所)・お台場海浜公園

## 今後の日程

平成25年1月19日(土曜日)午後2時~「中間刈り取りと押し葉づくり」

港区芝浦港南地区総合支所 協働推進課 台場分室(お台場のいづくり瓦版 編集部)